

平成28年10月 青果部 主要品目の市況

	種類	品名	市況の概要	H28年10月 数量 (トン)	H28年10月 平均単価 (円)	前年同月比 数 量	前年同月比 平均単価
1	野菜	大根	青森県産中心の販売でした。台風や長雨、曇天による日照不足により入荷減となりました。千葉県産も播種ができず遅れたため、単価高で推移しました。	521	164	64%	180%
2		キャベツ	9月の長雨や日照不足のため、根の張りが悪く小玉傾向となりました。夏秋産地の切り上げが早く、秋冬産地がやや出遅れたため単価高で推移しました。	720	184	74%	129%
3		きゅうり	埼玉県産・群馬県産中心の販売でした。気温の低下、天候不順の影響で入荷量が少なく、また東北産地の早めの切り上げもあり、単価高で推移しました。	391	506	82%	187%
4		ねぎ	前年はL級中心でしたが、今年度は2L級が中心となり入荷増となりました。他品目が少ない中、顧客も販売に力を入れてくれた結果、単価高で推移しました。	270	360	105%	132%
5		たまねぎ	北海道産が中心でした。大玉中心の作柄でありましたが、水害等の影響により入荷減となりました。	717	96	65%	127%
6	果実	早生みかん	天候不順の影響による小玉傾向と正品率の低下のため、入荷減の単価高となりました。	351	244	80%	129%
7		つがる	各県とも例年の1割から2割の入荷減で終了しました。前年は切り上げが早く、10月の入荷がなかったため、前年との比較ができませんでした。	5	262	-	-
8		平核無	和歌山県産・奈良県産中心の販売でした。前年より前進出荷だったことと、大玉中心の入荷になったことから大幅な入荷増となりました。	45	289	718%	162%